

2025 AUTUMN WINTER

若松樹弥がいざなう、海のいのちのまたたき ～ 龍神の海で、生命の祈りによりそう ～

■ 一瞬のきらめきが開く、新しい海の物語

2025年10月15日、ネイチャーイン大瀬館のInstagramに投稿された一本の短編映像。龍神を祀る大瀬神社の海で、イバラタツが光の粒子の中に姿を現しました。まるで祈りを捧げているかのようなその映像は投稿から12時間で再生2,000件。レンズを握るのは齢26の青年、ネイチャーインのチーフガイド 若松樹弥（わかまつ・みきや）です。



■ 「海洋生物への愛が、ハンパないんです」

あるゲストの言葉が彼のすべてを物語っています。曰く「海も人も静けさの中に本物が浮かび上がります」と笑う横顔には若き薩摩隼人の穏やかで揺るぎない芯の強さがにじみます。夕暮れの海で酒の肴に湯葉を味わう。そんな繊細な感性こそが彼のガイドの礎。ネイチャーインへ通う車中で英会話の鍛錬を欠かさず世界の海を志し訪れる海外ダイバーの心にもしっかり寄り添い続けています。

■ 観察をこえ、共感するガイド

彼の強みは知識でも技術でもなく、生きものと心を通わせる力。ムスメウシノシタの産卵行動を三ヶ月追い続け…オスの健気さにキュンとして…彼のブログ『大瀬崎 うみのひそひそ話』には、ウミウシの儂い命、コブシガニの愛嬌、魚の産卵劇など、海の小さな物語が息づいています。

ブログはこちら → [大瀬崎 うみのひそひそ話](#)

■ ワン・チームでいざなう、海の生命

ネイチャーイン大瀬館のInstagramは、新たな高みへと歩み始めました。儂い呼吸、揺らぐ粒子、きらめく光、その全てが短編映像に息づき、海の生命が紡ぐ物語を静かに伝えます。目指すは、大瀬崎の静寂の中に宿る「いのちの声」をひもときゲストの体験をより深く豊かに支えること。

私たちは、海のアルプスのバルコニー、大瀬崎で、自然の声に耳を澄まし、いのちの鼓動に寄り添い、この海と共に生きていきます。

ネイチャーイン大瀬館

お問い合わせ： info@natureinn-osekan.jp

公式サイト： <https://www.natureinn-osekan.jp>

Instagram： https://www.instagram.com/osekan_natureinn

広報担当：宮島友香 電話 080 4198 2270

